

令和6年度宮崎県博物館協議会議事録

日時：令和6年10月25日（金） 13:30～16:00

会場：宮崎県総合博物館研修室1

1 出席委員：ハツ橋寛子会長、柳澤一男副会長、大重美貴委員、田原理恵委員、森永英津子委員、野村美智子委員、横山幸子委員、鶴田安彦委員、出口智久委員、山下裕亮委員、柴田博子委員、那賀教史委員、川越祐子委員、木佐貫ひとみ委員、 14 名

欠席：永山新一委員、堀田由美子委員、二見志信委員 3名

2 事務局等出席職員

(1)県文化財課：長友由美子課長、森泰士朗主事

(2)県総合博物館：松野義直館長、黒木秀一副館長、野添和洋学芸課長、岩切勝彦主幹、安影和寿主幹、二宮満夫副主幹

(3)県立西都原考古博物館：岩切喜郎館長、東憲章副館長、三秋みゆき主幹、日高広人主幹、松本茂副主幹

3 会議次第

(1)開 会

(2)開会あいさつ 総合博物館館長 松野義直

(3)委員、職員紹介

(4)会長選出・会長あいさつ

(5)議事

①令和5年度総合博物館の事業報告及び評価について

②令和5年度西都原考古博物館の事業報告及び評価について

③令和6年度総合博物館及び西都原考古博物館の事業計画について

④ 県総合博物館第4期中期運営ビジョン及び西都原考古博物館第3期中期運営ビジョンについて

(6)閉会あいさつ 西都原考古博物館長 岩切喜郎

(7)閉 会

(8)特別展観覧「化石タイムカプセル」観覧

4 質疑応答

(1)令和5年度総合博物館の事業報告及び評価について

○委員 福祉施設との連携について

より活用が進むようPRをお願いしたい。

○総合博物館長

チラシの作成なども行ってきたが、さらなる活用促進に向けて検討したい。

○委員

PRの場の設定なども可能なので、ご相談いただきたい。

○委員 資料収集について

寄贈があるのはありがたい。個人的にも以前 50 年前のステレオを寄贈した。「県民の財産」として、寄贈に関する PR をしてはどうか。

○総合博館長

寄贈については収蔵庫の容量の問題など難しさがある。館では資料受入委員会を実施し、検討を行っている。

○委員 バックヤードツアーについて

毎年、園で利用させていただいている。先日、県立美術館見学をした際にバックヤードツアーがあり、好評だった。総合博でも年長～小学生向けのバックヤードツアーがあるとよい。

チラシの配付もありがたい。

○総合博館長

バックヤードツアーを子ども 1 日館長のイベントの時に実施した。他、博物館実習や職場体験などのときに実施はしている。現在は資料保存の観点から実施していないが、何らか検討したい。

○委員 展示解説について

昨年、小学 3・4 年生 7 名で利用したが、丁寧な解説がありがたかった。

昨年の特別展もジオラマやショップなど魅力的でよかった。

○総合博館長

展示解説員については、30 分の解説原稿があり、採用時に試験を実施している。もっと積極的に利用してもらえよう検討したい。

○委員 建て替えについて

景観や歴史的背景などを重視しながら検討を進めてほしい。

○総合博館長

本館は坂倉準三氏の設計という歴史的建造物であることは認識している。しかし、築 50 年以上が経過し、老朽化は否めない現状がある。

建て替えには莫大な予算がかかるうえ、他県の施設との兼ね合いもある。県と協議しながら今後検討していきたい。

○委員 収集保存について

収蔵資料のアーカイブ化に伴うデータのバックアップはどのように行っているのか。

○総合博副館長

現在、HDD2 台を設置し、対応している。

○委員

今後も進んでいくデジタル化に対する対応を県の財産を守る意味で是非お願いしたい。

○委員 南海トラフ巨大地震臨時情報について

今後も発表されることが増えると予想される。来館者が安心できる、安全性に対する情報提供を行ってもいいのではないかと。

○総合博物館長

来館者が安心できる情報提供を行っていききたい。

○令和5年度総合博物館の事業報告及び評価については原案通りで承認。

(2) 令和5年度県立西都原考古博物館の事業報告及び評価について

○委員 展示について

説明が非常によかった。展示室の暗さもあるが、出口がわからなくなることがあった。

○西都原考古博物館長

展示室の案内等については今後も改善に努める。

ボランティアの案内で普段は実施しているが、学芸員による案内もイベントでは実施している。

○委員 デジタル化・情報発信について

調査研究について、多忙な中、職員の調査研究には感謝している。

高齢者に対する来館機会や来館できない方に対するデジタル化や情報発信はどのように行っているか。

○西都原考古博物館長

来館者は中高年が多い。館のバリアフリー化はしている。アーカイブ化も必要だが、触れて体感できる部分も重視していきたい。

若い世代にも来館してもらえる工夫も進めていきたい。

○総合博物館長

来館者はファミリー層が多い。展示内容で来館者の年齢層も変わる。

現在、みやはくデジタルミュージアム構築事業による VR 化を進めている。来館できない方でも楽しめるコンテンツ作成を進めている。

○委員 西都市との連携について

考古博は西都原の中核施設。もっと評価されていい。

集客が見込める際に来館しやすい企画を催してはどうか。西都市との連携についてはどうか。

○西都原考古博物館長

西都原古墳群は周辺古墳群と含めて「日本遺産」に登録され、再来年サミットも開かれる予定である。考古博としても協力・連携を進めているところである。

古墳や花などを見に来た方を考古博に来てもらえるような工夫をしたい。

○委員 解説・アンケートについて

両館ともに説明がいいが、もっと解説についての PR をしてはどうか。HP での工夫もしてはどうか。

アンケートについて、増えた要因は何か。

○西都原考古博物館長

解説に関するPRについては足りていないのが現状。HPでも工夫・検討する。

アンケート増については、昨年度の特展の影響が考えられる。また、QRコードによるアンケート回収も要因と考えられる。

○委員 アクセスについて

交通手段について、10年前にも要望したが、10年経っての現状はどうか。

○西都原考古博物館長

後退しているのが現状。路線バス廃止により、バスセンターまでしか来ていない。市コミュニティバスが周囲を走っているのみ。公共交通機関の拡充は正直難しい。

○委員 入場者数・学校教育支援について

入館者数について、どのようにカウントしているのか。

考古博でも学校教育への支援等はできないか。

○西都原考古博物館長

入館者については入口で自動カウントしている。体験館はスタッフが1名以上常駐しカウントしている。

○西都原考古博副館長

西都市内では「さいと学」による学習を行い支援している。市外では来館による支援を実施している。

近年は探究学習による来館が増え、学芸員による解説を行ったりしている。

○委員

学校と組んで希望者のみのツアーを行うなど、学習したことに触れる機会を作れないか。

○西都原考古博副館長

以前は教員向けの講座を行っていたが、参加者減少やコロナもあり休止している。教員が利用の仕方を知る機会も検討したい。

○委員

子どもだけでも利用できるような機会もあるといい。

○令和5年度西都原考古博物館の事業報告及び評価については原案通りで承認。

(3) 令和6年度総合博物館及び西都原考古博物館の事業計画について

○委員 停電時の対応について

停電時の非常電源の設備はあるか。

○総合博物館長

ある。先日の台風時に準備し、確認を行った。

○西都原考古博物館長

ある。

○令和6年度総合博物館及び西都原考古博物館の事業計画については原案通りで承認。

(4) 次期中期運営ビジョンについて

○委員 研究発表会について

研究発表会について、県民の学習機会としてどのように広報しているか。

○総合博副館長

マスコミを通じて広報を行っている。

○委員

自然の保護の意識は大切だが、保全の視点も持ってほしい。

○委員 福祉施設の利用について

福祉施設の利用について、老人クラブなどにもっと広報や工夫を是非お願いしたい。

○総合博館長

コース回想法をについてもさらに PR しながら利用を増やしたい。

○委員 目標値について

総合博の入館者数の目標値が少し物足りない気がする。検討をお願いしたい。

アンケートの満足度が 80% 以上についても、もう少し検討をお願いしたい。

○総合博館長

入館者数については検討したい。

アンケートの満足度については、評価4を取得するためには、目標値の 1.2 倍が基準となる。80%を目標とした場合、その 1.2 倍である 96%が必要となるため、現状維持でお願いしたい。

○議長

2 月までに再度見直し案を提示をお願いしたい。